

ごあいさつ

令和6年4月1日に校長として着任し、本校2年目となりました坂本博司です。

平素より本校教育活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。保護者の皆様、地域の皆様の深い愛情に生まれ、児童は安心、安全な学校生活を送ることができております。

三ツ城小学校は、119名の新入生を迎え、児童数726名、31学級（令和7年4月8日現在）で令和7年度をスタートいたしました。校訓「和 なごみ」のもと、学校が「心がほっと安らぐ場所、気持ちが穏やかになる場所」となるよう、教育活動を推進してまいりたいと考えています。

今年度より学校教育目標を、児童もイメージしやすい「『つづける』『つながる』『つくす』」と変更しました。「知・徳・体の調和の教育の創造と推進」，「地域とともにある学校づくり」を柱に、「夢と志をもって一人一人が主体的に学び続け、多様な人々と協働して、豊かな未来を切り拓いていく子ども」の育成を目指します。そのために必要な資質・能力を、三ツ城の「三ツ」から3つの「つ」に合わせ、「つづける：挑戦力」「つながる：協働力」「つくす：貢献力」として、児童も教職員も学校も、その力を高めようと考えています。学習活動だけでなく、学校生活全般で取り組んでまいります。

さて、4月8日の始業式及び入学式では、昨年度同様に児童に3つのお願いをしました。1つ目は、「たくましい人」になることです。早寝・早起きをして、朝ごはんをしっかり食べ、元気に学校に来ることを話しました。2つ目は、「優しい人」になることです。元気よく挨拶したり、「ありがとう」や「ごめんなさい」がきちんと言えたりする優しい心を育てようと話しました。3つ目は、「賢い人」になることです。できなかったことができるようになったり、わからなかったことがわかるようになったりするために、友達と協力しながら努力を続けることを話しました。

児童一人一人に、「豊かな心」「確かな学力」「たくましい体」を育むため、全ての教職員が、児童に対する愛情と教育に対する使命感をもち、専門性を発揮しながら対応できる組織的な学校づくりを進めてまいります。これまで同様に、家庭や地域との連携を図りながら教育活動を推進してまいります。引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和7年4月8日

東広島市立三ツ城小学校
校長 坂本 博司